

平成 29年 年頭のごあいさつ

兵庫県立芦屋特別支援学校長 森下 伊一郎



新しい年が明け、2017（平成 29）年がスタートしました。本年もどうぞよろしく
お願いいたします。たいへん暖かい元旦で、今年が良い年になることを期待させるよう
な、穏やかなお正月を迎えることができました。

開校 7 周年の本年度、児童生徒数は 343 名（1/11 現在）となりました。開校当初
に比べ 140%以上増加し、いくつかの特別教室を普通教室に転用して使用している状
態です。美しく整った新しい施設設備ではありますが、教育環境は決して良いとは言え
ません。また、屋外の遊具が非常に少ないため、ふるさと寄付金を活用した「県立学校
環境充実応援プロジェクト」で、本校の『遊び場創造プロジェクト』への寄付金を募り
ましたところ、約 170 万円集まりました。これを滑り台等の遊具設置に活用させてい
ただきます。本当にご協力ありがとうございました。

本校の校訓は「あかるく やさしく たくましく」であり、教育目標として①元気な体
と明るい心、②自ら進んで遊び、学び、働く力、③自分の考えや気持ちを表現し、伝える力、
④友だちや周囲の人と協力して行動する心と態度、を育てることとしています。

また、”*Reasonable Educational Activities with Affection & Passion* ～子どもを大好きに
なり、一人一人を大切に作る～” をスローガンにして、ミッション（①キャリア教育・
就労支援の推進 ②合理的配慮の提供 ③インクルーシブ教育システム構築 ④交流及び
共同学習の推進）、コンセプト（①子どもを大好きになり、一人一人の生活を見つめ大
切に育てる学校 ②地域とともに歩む、安心・安全で信頼される学校 ③県全体のモデル・
リーダーをめざす学校）をもとに、細部をデザインとして描いた学校経営方針で「社会
参加と自立をめざす教育」に取り組んでいます。今年度特に重視したことは、保護者等
に説明できる根拠のある教育活動を行うことです。合理的配慮の提供をはじめ、学習活
動や行事が真に児童生徒の力を最大限伸ばしていけるものになるよう、教職員が教育へ
の情熱と子どもたちへの愛情を持ち取り組んでいきたいと考えます。

インクルーシブ教育システム構築に向けた新しい時代の特別支援教育に取り組んで
いくため、教職員・保護者・地域・関係機関等が協力し合う学校、日々進化し続ける学校
づくりに、今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。